

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市浅川町三丁目5番地7
(浅川福祉センター内)
TEL0561-51-2878

1940〜50年代それはアメリカが一番輝いていた時代であり、私達日本人がアメリカの豊かさを聞き、未来の象徴として憧れた時代であった。
でも、みんな日本人は努力してここまで来れた。
さあ、これからが勝負である。
25年のテーマ「食と健康」
①WHOの健康三原則
は四原則(栄養・運動・休息・ストレス)。
②家庭は食育の基盤。
美しい家庭の構築

大きな車と電化製品。豊かなさが、幸福の象徴であった。



③ 学校給食、病院食、各種施設食へ安全食の提供

GENERAL ELECTRIC
ALL-STEEL

Have a Coca-Cola a Hourly, Neighbor

50年代のアメリカで流行り始めた...
その憧れは特別な感情を抱かせるものだ。
そして電化製品の流行は、まさに海外旅行ののりまかせに、簡単に渡りかえりし、そして、今の私達から見れば思わず笑ってしまうようなおかしな広告もなかにある。



「次世代を担う子供達に、サタクロ大かやま来た。この姿をしてしまつと誰れだか分からない。これはやみつきになるぜし。二十五年の年末には施設にはクリスマスでもこの姿でいこうかなとなんて考えてしまった。本当に活動の実現がありそうです。フレッド・ロビンソンさんにお話を聞かせてください。」



「子供達のお話を聞くと、お母さんの笑顔も、子供達の笑顔も、お父さんの笑顔も、みんな笑顔で、おじいさん。」



児童館で毎年恒例のクリスマス会

